

平成30年度全国学力・学習状況調査の状況報告について

清秋の候、保護者の皆様にはご清栄のこととお喜び申し上げます。

去る4月17日に全国学力・学習状況調査を実施しました。これは、国語科・算数科・理科の3教科の学力と、生活習慣や学習環境等に関する調査で、全国の小学校6年生が対象でした。その結果が8月末に届き、9月3日に6年生のご家庭へ個人票を配付しました。本校6年生の結果については、次のような傾向が見られました。この結果を今後の指導に役立てていきたいと思っております。

【国語科】

A（主として知識に関する問題）、B（主として活用に関する問題）ともに、やや不十分な結果となりました。領域別では、「書くこと」がやや不十分という結果でした。具体的には、「自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考える」問題や、「推薦するためには、他のものと比較して書くことで、よさが伝わることを捉える」問題でも誤答が多く見られました。漢字の読み書きについては、学年相応の力があることが分かりました。

【算数科】

A（主として知識に関する問題）、B（主として活用に関する問題）ともに、やや不十分な結果となりました。「数と計算」の領域で、「1に当たる大きさを求める問題場面における数量の関係を理解し、数直線上に表すことができる」問題や、「少数の除法の意味について理解している」問題で、誤答が多く見られました。基礎的な計算力については、学年相応の力があることが分かりました。

【理科】

「主として『知識』に関する問題、「主として『活用』に関する問題」とともに、やや不十分な結果となりました。「骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念を理解している」問題や、「人の腕が曲がる仕組みについて、示された模型を使って説明できる内容を選ぶ」問題、「実験結果から電流の流れ方について、より妥当な考えに改善できる」問題で、誤答が多く見られました。

【質問紙調査】○…よいところ、☆…課題となるところ

■生活習慣・自分のこと

- 朝食を毎日食べている。
- 毎日同じくらいの時刻に寝ている。
- 学校のきまりを守っている。
- 将来の夢や目標をもっている。
- ☆家庭学習（学習塾等も含む）の時間が短い。【平日2時間未満の児童の割合が高い】

■学習に対する関心・意欲・態度

- 算数の勉強が好きである。
- 算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える。
- ☆理科の勉強はあまり好きではない。

■学校や家での生活、地域とのかかわり

- 今住んでいる地域の行事に参加している。
- テレビやインターネットのニュースを見る。
- ☆新聞をあまり読まない。

【結果から見られる課題、本校で取り組んでいくこと】

- ・学習や行事を絵日記や作文などで繰り返し振り返らせることで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることの苦手意識を軽減する。
- ・算数科では、少人数指導により、学習意欲や基礎的な計算力の向上が見られるので、この指導方法を継続する。
- ・「朝の読書」は継続し、文章から情報を獲得する力を養ったり、豊かな文章表現に多く触れさせたりする。
- ・実験結果を基に仲間と議論し新たな考えを構築できるような、主体的かつ対話的で深い学びができる理科の授業を展開する。

【家庭にお願いしたいこと】

- ・読書の質を向上させるため、お子様の状況に応じて、さまざまな種類の本を紹介してください。
- ・家庭学習を習慣づけるため、宿題の他に復習や予習・読書などを行うように声をかけてください。
- ・規則正しい生活ができるようにするため、テレビや情報端末などの使用時間について、各家庭でルールを決めてください。ネットにまつわるトラブルや、長時間の端末操作による睡眠不足が増えています。機器の使用のルールも合わせてよく話し合ってください。